

海洋教育パイオニアスクールプログラム成果報告書 1

「海洋教育のデザイン」

1. 学校名

静岡県御前崎市立御前崎小学校

2. 活動テーマ名

発見！体験！発信！私たちの海 御前崎海洋授業

3. 実践の概要・ねらい

(概要)

渚の交番との協働で海のアクティビティ体験（ビックスアップ シュノーケリング）を楽しむと同時に御前崎の海が抱える現状について意識を向ける。その後、ビーチコーミングを行ったり、海岸を歩いて現状を深く知る活動を行う。ふたつの活動を通して御前崎の海のよさと課題を知ることから郷土を愛する心情を育むと同時に、海の環境を守るために何をしていけばよいのか考え、外部に発信をしていく。

(ねらい)

- 海のアクティビティ体験（ビックスアップ シュノーケリング）を通して海のおもしろさを感じたり、御前崎の海の豊かさについて知ったりすることで、郷土を愛する心情を育む。
- ビーチコーミングや海岸清掃、そして海岸の現状を歩いて確認することを通して、御前崎の海が抱える環境問題について知り、自分たちに何ができるのか考えることができる。
- 体験して知ったことやより詳しく調べたこと、自分にできること、他に訴えていきたいことなどを整理して新聞にまとめることができる。

4. 実践計画

① テーマ・概要・活動計画・教科等との関連

海のアクティビティ体験	海岸を歩いて観察	できることを考え、広める
<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーン ・ビックスアップ体験 (3時間) ・海中の生き物観察 (1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチコーミング ・ビーチクリーン ・海岸の観察・・・砂浜の減少、川と海とのつながり (4時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習やその後に調べたことを基に学びを新聞にまとめる (3時間)
(他教科との関連)		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (道徳) ・自然愛護 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (5年社会) ・漁業 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (5年理科) ・流れる水のはたらき </div>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (5年総合) ・アカウミガメの飼育活動 </div>		

② 実践の評価について

4年生が海洋授業に取り組む中で、当初の目的である御前崎市スクラムスクールプランでねらう「郷土を愛する子の育成」に大きな成果を上げることができた。また、児童の活動を知った保護者も海に目を向けるようになっている。渚の交番スタッフの全面的な支援を受け、充実した学習を行うことができた。

4. 本年度の実践

- ① 計画からの追加・変更点・・・当初は新聞作りで活動を終える予定であったが、外部への発信を強化していくために、作成した新聞をリーフレットとして印刷し、渚の交番や市観光協会等での配付を行った。

② 実践の成果

- 御前崎ならではの自然と地域人材を生かし、海のアクティビティ体験をしたことで自然の楽しさや御前崎の海のすばらしさを子どもたちが実感できた。
- 海の現状を知ることで子どもたちは、御前崎の宝である海を守っていこうという意識を高めることができた。

③ 次年度への課題

- △学習の成果を他校と交流し合い、地域でのつながりを深め、学び合う必要がある。
- △外部への発信の仕方を工夫し、より広い地域へ訴えることを行っていきたい。

6. 主な連携機関及び内容

- ・御前崎渚の交番（ビックサップ シュノーケリング指導 ビーチクリーンへの協力
海岸観察時の講義）

御前崎小学校 4年『海を感じ、海を学ぶ』

目的：

海のアクティビティを体験することで、海の楽しさ面白さを体感し、海への好奇心、愛着心を育む。活動にビーチクリーンや漂着物観察を取り入れることで、地元の海が置かれている現状を観察し、把握する。そのことにより、海が好きだからこそ、海を大切にしたいという気持ちを持つことが出来るよう、促しを行う。同時に、活動を通して仲間と協力することの大切さを体験的に学ぶ。これらの活動により、災害時などいざという時の対応力も身に付ける。

また、本校が5年生で行っている天然記念物のアカウミガメの飼育に学習をつなげていく。

○時数： 7月～11月 合計13時間（総合的学習 13時間）

○関連： 本校が5年生時に取り組む、アカウミガメの学習

○目標： ① 海のアクティビティを通して海に触れることで、海をより身近に感じる。

② 実際に海岸線を歩き、観察することで、地元の海が抱える課題を体験的に感じ、学ぶ。

③ 海洋環境とアカウミガメへの影響を一人ひとりが考え、まとめることで、5年生時に取り組むアカウミガメの飼育への意識を育む。

○連携機関と内容： 自然体験活動団体 Earth Communication（活動コーディネート）、御前崎 渚の交番（体験活動受入・実施）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動			① アクティビティ体験(総合 3時間) ・ビーチクリーン ・ビックスアップ体験			2 海を学ぶ ① 海岸を歩いて観察(総合 4時間) ・漂着物観察 ・ビーチクリーン ・海岸の観察(砂浜の減少 川と海のつながり等)						
探求的な活動			↓ ②海中の生きもの観察(総合 2時間) ・海での安全のおさらい ・スノーケリングでの泳ぎ方 ・スノーケリングで海中観察			↓ ②アカウミガメの気持ちになってみよう(総合 1時間) ・海中の様子を思い出し、海の現状を改めて考える。 ・海の現状を、アカウミガメの視点で考える。 ・自分たちに何が出来るかを考える。						
表現的な活動										3 できることを考え、広める ① 考察し、まとめる (総合3時間) ・これまでの体験学習で学んだことを基に、新聞形式でまとめる。 ・子どもたち同士で共有 ② 発信 ・リーフレットの作成(渚の交番等の地域施設で配付)		